

“柏中2学年の学習活動が「ちいき新聞」に掲載されました！”

ちいこみ! ちいこみ 検索

ちいき新聞 柏中央版 2021.9.10 | 4

地元企業を通して働く意義を知る

柏中学校で仕事に関する学習発表会

コロナ禍でも学びを止めない

7月16日、柏市立柏中学校(逆井俊彦校長)の2年生5クラスで、キャリア教育教材『発見たんけん千葉県10年先のジョブノート』を使った学習発表会が行われた。



発表会に活用した教材

『発見たんけん千葉県』は「コロナ禍で職場体験などが難しくなっている中でも、地元企業を知り、働く意義や喜びを学んでほしい」と、株式会社地域新聞社が2021年度から発行を始めたもの。趣旨に賛同した千葉県内の29の企業が掲載

されており、働く人の声などを通して、多様な職業の役割ややりがいを紹介している。5月に柏市、松戸市、千葉市、八千代市、船橋市、市川市、成田市

の公立中学校2年生全員を対象に配布され、柏中学校では届いてすぐに総合学習の授業での活用を決めた。

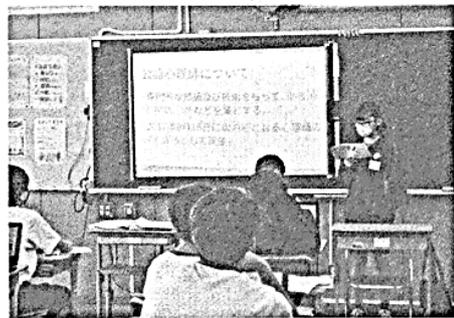
地元企業にインタビュー

この発表会に向けて、生徒たちは教材の中から興味を持った職業を選び、聞きたいこ

とを企業に投げ掛けた。「仕事をすることで必要なことは?」「大変なことは?」といった質問に対し、直接学校に来て答えてくれた企業や、動画を提供してくれた企業もあったという。

発表会当日、生徒たちは、本年度から1人1台ずつ配備されたノートパソコンを駆使し、企業からの回答をスライドにまとめて発表した。学年主任の田中圭一郎教師は「生徒がゼロから調べると、税理士や葬祭業といった職業

はなかなか思いつかないが、地元企業のおかげでさまざまな職種に触れることができた。こうした学びで将来の選択肢を広げてほしい」と語った。



資料をプロジェクターで投影し発表

『発見たんけん千葉県』は千葉県全域を対象に配布拡大し、来年度も発行予定。(広)

☆web 上でも同記事が掲載されています。http://chiicomi.com/press/1779497/